

緊急

トビイロウンカによる坪枯れに注意

三田営農総合センター

トビイロウンカの発生が三田市内で今年も確認されました。J A兵庫六甲管内や県下において、9月7日時点で三田以外に発生が確認されたところはありませんが、今後広がる可能性がありますので注意が必要です。トビイロウンカは稲の株元に生息していますので、株元をよく観察してください。

中晩生の品種では被害（坪枯れ）による減収が懸念されることから、防除を実施していない場合は必ず9月中旬には防除を実施しましょう。早生品種等で被害が出そうな場合は早めに収穫してください。

○対策

①薬剤は株元までかかるように丁寧に散布します。

②効果の期待できる下表の薬剤を使用します。

③スタークル粒剤は有効成分が根部及び葉鞘部(水面下)から吸収移行するため、効果が出るまで数日間要します。早めの散布を心がけましょう。

④トレボン粉剤DLは一般の粉剤に比べ流動性が良いので、散布の際は1目盛絞って散布しましょう。

薬剤名	10アール当り使用量	使用期限	対象害虫
スタークル粒剤	3kg	収穫7日前まで 3回以内	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、 カメムシ類
トレボン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで 3回以内	カメムシ類

ご注文は三田グリーンセンターまで！(TEL:079-567-1216)

※農薬使用については、総使用回数・収穫前日数等に注意し使用基準を守り、散布してください。

●粒剤の場合は、4~5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水や、かけ流しをしない。



トビイロウンカは株元に集中（写真左）し、吸汁し続けるため、茎は枯れ上がり、円形に坪枯れする（写真右）。株に5頭で今すぐ要防除。

※なお、本情報はJ A兵庫六甲のホームページにも掲載させていただきます。今後もホームページにて情報を随時掲載させていただきますので、ご活用ください。

掲載場所：J A兵庫六甲 ホームページ (<https://www.jarokko.or.jp/>)

⇒生産者向け情報⇒その他（病害虫発生予察情報）

⇒三田地区 水稻情報 2021 年度発行

※スマートフォンからも閲覧可能です（スマートフォンの場合、右記のQRコードを読み込んでいただくとHPをご覧いただけます）。



発信日：令和3年9月9日(木)

問い合わせ先：三田営農総合センター 079-563-4192